

2024.9.19
Vol.62
№9
(2952)

2670地区の活動

四国八十八か所ポリオ根絶祈願参拝

②TV番組「世界の子供たちをポリオから救う」の作成、四国4県での放送、ユーチューブ配信

2660地区が実施した20歳以上の男女を対象としたインターネット調査から見える問題点

・ロータリーの認知度 ⇒ 全体で6割強の認知度。女性より男性、及び年齢層が高くなるにつれて認知度が上がる傾向

・他団体との比較 ⇒ ライオンズ73.7%、ロータリー56.8%と認知度に差

・ロゴマークの認知度 ⇒ 19.8%と非常に低い。活動の中でロゴマークを前面に出していく必要あり

・ロータリーのイメージ ⇒ ハイクラスの方々の社交クラブといった印象が強い

特に最後のロータリーのイメージを払拭するためには、誰もがロータリーの名前を聞いてどのような組織なのか、何をしているのかが分かるようなブランディング(ブランドを形作るための様々な活動)が必要と思われます

■クラブ活性化セミナー(9月14日)報告

藤井会員

クラブ活性化セミナーは危機管理セミナー、行動計画セミナー、会員増強セミナーの3部構成で実施されました

危機管理セミナーではハラスメントや危機管理についての話があり、日本でこれだけの問題があるなら宗教や民族問題を抱える外国のクラブは調整が非常に困難だろうなと思いをめぐらせました。行動計画セミナーでは中長期計画の大事さや衛星クラブについて、会員増強セミナーでは「増強のマジック」のタイトルで、クラブの魅力的なブランディングの大切さの話がありました。今回のクラブ活性化セミナーの参加者の顔ぶれを見ると、女性会員の数がまだ少ないなと感じました。

細谷会員

まず運営責任者として、皆様のご協力のもと無事にセミナーを終えられましたことに対し感謝申し上げます。セミナーでロータリーにおける危機とは、自然災害や戦争・暴力といった一般的なものに加えて、ハラスメントや会計問題、内部の不和などと認識しているそうです。

最近特に問題になっているのがハラスメントの問題です。お互いの認識の違いを生じさせないことが大事で、個人的には普段からのコミュニケーション不足が認識の違いを生じさせるのではないかと考えます。それらを解消するためにも、お互いが認識しあえるようなコミュニケーションを取っていければと思います。

会員増強では高知南RCの加藤会員が、創立50周年を機会に長期目線での取り組みをした結果、会員増強に成功した事例を紹介されました。